

令和 7 年 12 月吉日

会員各位

一般社団法人 埼玉県リハビリテーション専門職協会

代表理事 岡持利亘

公益社団法人 埼玉県理学療法士会

会長 水田宗達

一般社団法人 埼玉県作業療法士会

会長 宇田英幸

一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会

会長 田尻恵美子

令和 7 年度埼玉県地域リハビリテーション専門職育成研修事業
地域リハビリテーション推進事業に関与するリハ専門職育成（中級コース①）

「聞こえ」と「食べる」 をかなえる新たな取組の創造

開催のご案内

拝啓 時下、皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

埼玉県では、平成 26 年より「ご近所型介護予防」として、県内市町村に介護予防・自立支援等の取り組みを展開してきました。昨今、介護予防事業の延長線として、「聞こえ（加齢性難聴など）」に関する相談も増えてきております。各市町村では、聞こえに関するアセスメントや具体的な支援方策について検討されている中、リハビリテーション専門職にも事業に関する相談も受ける機会があるかと思えます。また、地域ケア会議の事例検討の中で、むせ込みに対する対応や「食」に関する課題が協議される機会も多いと思います。

そこで今回の研修会では、「聞こえ」と「食べる」に着目し、管理栄養士・言語聴覚士を講師として、それらの課題の対応策を一緒に考える研修会を企画しました。

県内各地で地域支援事業に関わる皆さまにとって、今取り組まれている活動の進化・深化に向け、役立つ機会にしたいと存じますので、万障お繰り合わせの上、より多くの皆様の受講をお待ちしています。

敬具

※ 本研修会は、埼玉県より一般社団法人埼玉県リハビリテーション専門職協会への委託事業です。

※ 県理学療法士会・県作業療法士会・県言語聴覚士会が協力・連携して開催します。

記

内容（予定）

- ① 導入：地域支援事業で「むせ」「食べる」「聞こえ」の課題によるフレイル状態の進行を具体的に支援出来る基盤の必要性について
- ② 各論①：「介護予防事業での、「むせ」「食べる」「聞こえ」の課題への対応」
- ③ 各論②：「嚥下外来の取組紹介」
- ④ 各論③：「訪問栄養指導による食べるを叶える多彩な支援」
- ⑤ 各論④：「聞こえの外来の取組紹介」
- ⑥ 質疑応答・意見交換

（内容は追加・修正される可能性があります。）

講師：北村 裕子 氏（川越リハビリテーション病院 言語聴覚士）
唐澤 健太 氏（リハビリテーション天草病院 言語聴覚士）
中神 裕子 氏（管理栄養士）
大住 雅紀 氏（霞ヶ関南病院 言語聴覚士）

開催日時 令和 8 年 1 月 22 日（木） 19：00 ～ 21：00 （受付 18：50 開始）

開催方法 オンライン（Zoom）

※参加申し込み後の Zoom の URL をメールにてお送りいたします。

※PDF で資料をお送りするため、フォーム登録アドレスは PC アドレス にしてください。

申込み方法

オンライン（Zoom）

下記の申し込みフォームにアクセスし、必要事項を記入してください

URL：<https://business.form-mailer.jp/fms/8666e789288931>

二次元コード



対象 埼玉県士会の所属している理学療法士、作業療法士、言語聴覚士もしくは、以下の要件のどれかに当てはまる方 および 埼玉県内の市町村地域支援事業関係者・行政職員等

- 要件）
1. 地域ケア会議基本コース・実務コースを修了している方（修了を予定している）
 2. 市町村事業（介護予防・地域ケア会議など）の支援（助言者など）をしている方（予定者）
 3. 地域リハビリテーション活動に興味がある方

定員 100 名（定員になり次第、終了）

参加費：埼玉県士会会員及び行政等関係者 無料

申込み期限 令和 8 年 1 月 20 日（火）12：00

キャンセルの場合は、必ず下記「問い合わせ」先へ連絡をお願い致します。

【問い合わせ】

一般社団法人埼玉県リハビリテーション専門職協会

担当：駒井 敦

E-mail info@sarp.or.jp